

第17回腎癌研究会プログラム

開催日:平成 11 年 4 月 15 日

会 場:ホテルニューオータニ大阪 地下 1 階 あやめの間

主 題:腫瘍側からみた腎癌の予後因子 - 腫瘍型,病理組織,遺伝子など -

Session 1 生体側反応、病理学

座長:長谷川 道彦(岩手医科大学)

1. 腫瘍内浸潤リンパ球は腎細胞癌の遠隔成績に影響するか

日大駿河台病院泌尿器科

川田 望 森田恒太郎 矢ヶ崎宏紀 杉本周路 平方 仁 滝本至得

2. 腎細胞癌の予後因子—腫瘍側因子とそれに対して変動する宿主側の

パラメーターについて

防衛医科大学校病院泌尿器科¹⁾ 自衛隊横須賀地区病院²⁾

浅野友彦¹⁾ 中島史雄¹⁾ 木村文宏¹⁾ 辻 明¹⁾ 小田島邦男¹⁾

早川正道¹⁾ 上床典康²⁾

3. 腎腫瘍の予後因子としての病理組織分類について

東京医科歯科大学泌尿器科¹⁾ 同病理²⁾

藤井靖久¹⁾ 辻井俊彦¹⁾ 影山幸雄¹⁾ 木原和徳¹⁾ 大島博幸¹⁾

根本哲生²⁾

4. 腎細胞癌の予後因子としての腫瘍内微小血管密度と細胞増殖能について

奈良県立医科大学泌尿器科

吉川元祥 仲川嘉紀 趙 順規 植村天受 大園誠一郎 平尾佳彦

5. 腎癌の予後因子としてフローサイトメトリーによる DNAploidy の解析は有用か

— Flow cytometric unfavorable type の検討—

東京女子医科大学泌尿器科

奥田比佐志 中沢速和 伊藤文夫 龍 治修 合谷信行 東間 紘

Rapid Communication

座長:大西哲郎(東京慈恵会医科大学)

「癌抗原ペプチド;腎癌ワクチンとしての可能性」

講師:伊東恭悟先生(久留米大学免疫学教室)

特別講演

座長：川村壽一（三重大学）

「ウイルムス腫瘍遺伝子 WT1 と発癌、がん免疫」

講師：杉山治夫先生（大阪大学病態生体情報学）

Session 2 予後因子

座長：野々村祝夫（大阪大学）

6．造影 CT 上広範な low density area を伴う腎細胞癌の臨床的特徴

九川大学泌尿器科

徳田倫章 中村元信 江藤正俊 鯉川弥須宏 内藤誠二

7．腎癌の予後因子の検討

福井医科大学泌尿器科¹⁾ 静岡市立病院泌尿器科²⁾ 公立豊岡病院泌尿器科³⁾

金丸洋史¹⁾ 三輪吉司¹⁾ 鈴木裕志¹⁾ 秋野裕信¹⁾ 岡田謙一郎¹⁾

佐々木美晴²⁾ 吉田浩士³⁾

8．腫瘍側からみた腎癌の予後因子 ー特に腫瘍径と病理組織像に関する検討ー

横須賀共済病院泌尿器科¹⁾ 県立足柄上病院泌尿器科²⁾ 茅ヶ崎市立病院泌尿器科³⁾

横浜赤十字病院泌尿器科⁴⁾ 国立横須賀病院泌尿器科⁵⁾ 横須賀北部共済病院泌尿器科⁶⁾

里見腎・泌尿器科クリニック⁷⁾

福田百邦¹⁾ 中橋 満²⁾ 仙賀 裕³⁾ 大古美治⁴⁾ 宇田川孝一⁵⁾ 朝倉智行⁶⁾

里見佳昭⁷⁾

9．初診時より遠隔転移を伴う腎細胞癌の予後因子の検討

慶應義塾大学医学部泌尿器科学教室

長妻克己 中島 淳 大家基嗣 朝倉博孝 大東貴志 丸茂 健

橋 政昭 村井 勝

10．腎癌におけるテロメラーゼ活性：特に嫌色素性腎癌における低い陽性率について

京都大学医学部泌尿器科

笥 善行 木下秀文 寺地敏郎 小川 修

Session 3 腫瘍径の検討

座長：柳川眞（三重大学）

1 1 . 腫瘍側からみた腎癌の予後についての検討

岡山大学医学部

津島知靖 日下信行 新 良治 賀来春紀 山本康雄 那須保友
公文裕巳

1 2 . T1 - T2 腎癌における腫瘍径と予後の検討

千葉大学泌尿器科¹⁾ 旭中央病院泌尿器科²⁾

三上和男¹⁾ 五十嵐辰男¹⁾ 戸辺豊総¹⁾ 赤倉功一郎¹⁾ 鈴木啓悦¹⁾ 市川智彦¹⁾
鈴木規之²⁾ 浜野 聡²⁾ 伊藤晴夫¹⁾

1 3 . 腫瘍径による腎細胞癌の予後：腎癌取り扱い規約と UICC の TNM 分類との比較

広島大学泌尿器科

笠岡良信 中本責久 碓井 亞

1 4 . 腎細胞癌の腫瘍径からみた治療成績の検討

三重大学医学部泌尿器科

吉村暢仁 柳川 眞 亀田晃司 鈴木竜一 林 宣男 有馬公伸
川村壽一

1 5 . 腫瘍径からみた腎細胞癌の予後の解析

京都府立医科大学

野本剛史 中川修一 中尾昌宏 中村晃和 三木恒治